

# ポインセチア

(学名：*Euphorbia pulcherrima*)

横井政人



この植物はメキシコ西部に野生する大型低木です。表紙の写真は1975年、中南米の探査に出かけた折、首都メキシコシティから700キロほど離れた太平洋沿岸のナヤリット州で撮影した野生ポインセチアです。赤い苞が出ているのですぐ分かります。

ここは海岸に近い所の静かな樹林地帯で、海拔200～500メートル、北緯22度ぐらいの赤道に近い場所です。メキシコのサボテンの生える砂漠地帯とはまったく環境の違う穏やかな感じがする所でした。回りにはキバナコスモスやシヨウジョウソウが見られます。

ただポインセチアはこの辺やメキシコ全体のいたる所に生えているのではなく、この地帯の丘の傾斜地に点々と生えているだけでした。ただし文献にはグアテマラなど中米および南米にも分布するとあります。

メキシコは日本の5倍もある国なのでサボテン、ダリア、コスモスなどのこの国の特産植物でも簡単に見ることはむず

かしいものです。ポインセチアもそうで、長く滞在しても他所では見られませんでした。

このような場所に生えている植物のためかポインセチアはアメリカやヨーロッパに紹介されるのが遅かったようです。欧米への紹介は植物好きなジョエル・ロバーツ・ポインセツト氏が1825年にメキシコ駐米大使に着任されてからとのことです。

この野生ポインセチアは現在では栽培されていない苞が細く長いものです。私が園芸学部の学生のころには学部の温室に同じように高く伸びた細葉のポインセチアがありました。

現在栽培されている品種は1920年ごろからポール・エツケ氏によって育種されたものです。

写真が古く変色していて表紙写真にはまずいことは重々承知ですが、ポインセチアの野生を見るチャンスはなかなかないので、あえて表紙にすることにいたしました。

有毒植物ではないので土地の人は古くから医薬として使っていたようです。

Introduction and Horticultural Exploitation of Tropical America-native plants. 1-3号(千葉大学園芸学部). Iizuka, M., M. Yokoi, M. Mii & J. Watanabeら. 1976, 1980, 1984.



**植物分類表**  
大塚秀雄 監修 解説  
B8判 300冊(予定) 特価1500円(定価2600円)

●植物学専門家および花芸造園業関係者必携 新エンズラーから月刊誌、最新刊分類体系を前記、日本産植物を収録した「MacBretia」2008に準拠。サキア科がムクゲ、ニホハ、トネアザミ科、アザミガ科、アザミ科、シオバ科、スギ科も追加。新世界植物類として役立つ。田舎植物志との異同も確認できる。用語として、植物分類学の基礎の歴史を詳述。

**幻の植物を巡って** [増補改訂新版]  
長瀬樹徳 著  
B5判 上製 304頁(予定)(オールカラー) 特価5000円(定価7000円)

●世界植物公園を巡る貴重な写真350点を収録・大塚秀雄監修でリニューアル。105年英国ウェイビー一冊を最新号で復刊、世界的に知られるサテュラジストである著者が30古キリ以上に出た10冊の中で実効的を中心にとする植物志発行と、刊に連れ出された3冊の個人蔵を巡った著者の増補改訂版も、新たに発行を断す。(増訂1000部)

花屋や書店の方へ上記特価にて販売いたします。(送料サービス)

**株式会社 アボック社**  
〒247-0056  
神奈川県鎌倉市大船2-14-13  
TEL 0467-45-5119  
FAX 0467-45-6591  
E-mail info@aboc.co.jp  
http://www.aboc.co.jp/

**注文方法**  
●ファクスまたは8月半ばまで  
直接小売へお申込みください  
●在庫がなくなり次第

(注)一冊単位では特価の  
扱いはいけません。